

会議録	令和7年10月3日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府田辺警察署協議会（令和7年度第2回）	
開催日	令和7年9月25日（木曜日）	
時間	午前10時から午前11時30分までの間（90分）	
場所	京田辺市立社会福祉センター 第3研修室	
出席者	松井会長、垣内副会長、花木委員、藤ノ井委員、田中委員、北見委員、柳委員、 (欠席 今井委員、中川委員)	計7人
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴・相談係長	計10人
諮問項目	特殊詐欺の被害防止対策について	
会議内容	<p>1 会長挨拶 2 署長挨拶 3 協議 諮問事項説明 特殊詐欺の被害防止について～生活安全課長</p> <p>【委員】被害防止のために、国際電話の利用休止手続きが有効であるという話は理解できるが、国際化が進んでいる今、国際電話を必要としている方もいる。完全に国際電話を利用休止するだけでなく、一部の国際電話番号は利用可能にする等の手続きが可能であれば、そのような手続きも周知して、少しでも多くの人が活用出来る手続きになればと思う。</p> <p>【委員】詐欺は固定電話だけでなく、スマートフォンにも企業等をかたる詐欺メールが来るほか、知らない電話番号からの電話の着信も多い。</p> <p>【委員】先日、私の子供がインターネットで買い物をしたが、市販の価格より若干安く、少し不安に思ったので、子供も口コミ等を確認した上で費用を支払った。相手方から「さらに 500円追加支払いするとお得になる。」等と連絡があり、それに応じたところ、その後、全く連絡が取れなくなり商品も届かなかったということがあった。</p> <p>数千円程度の話であり、社会勉強だと思い被害の届出等はしていない。</p> <p>【委員】このような事例はよくあると思う。 警察に被害の届出をするということは、高いハードルのように感じる。</p>	<p>司会 副署長</p> <p>司会 会長</p>

## 会議内容

【警察】先ほど説明をした特殊詐欺被害の発生件数や被害金額は、被害届を受理した合計数値であり、実際被害がその数値より多いということは分かっている。

【委員】本年7月末における京都府内の特殊詐欺被害にかかる資料によると、65歳以上の方の被害が約7割となっていたほか、犯人から被害者への最初の接触方法は固定電話からのものが約6割となっていた。

若い人は固定電話を使わぬが、田舎の高齢者は固定電話に頼っているところがある。

固定電話の廃止措置も特殊詐欺対策では有効かもしれないが、田舎である井手町の高齢者にとって、固定電話の廃止措置はハードルが高く困難だ。

反面、井手町には地域のコミュニティ機能が強く、コミュニティに参加出来ている方については、地域の絆で被害防止の支援が出来ると考えられる。

そこで、地域のコミュニティに参加出来ない方や、しない方へのアウトリーチによる対応が被害防止の課題になると考える。

井手町の地域包括支援センターが防犯チラシの配布等も出来るが、人員に限りがあり、アウトリーチ的な対応には限界がある。

私としては、地域の相談役でもある民生委員さんの力を借りれば良いのではないかと考える。

令和7年12月に民生委員さんは一斉改選となるが、井手町では民生委員さんは2か月に1回定例会を開催しており、12月や2月に開催される定例会で民生委員さんに出来る特殊詐欺の被害防止広報等について説明してもらえば良いのではないかと思う。

その他にも、高齢者への配食サービス等を活用した広報等も有効だと思う。

【警察】今春、当署では民生委員の会長会議に出席し、特殊詐欺の現状説明等を行った。

民生委員の改選については認知していなかったので、御意見については前向きに対応させていただく。

【委員】私のスマートフォンにも詐欺のような電話はかかるてくるので、登録していない電話番号からの着信には出ないようにしている。

娘世代は、登録していない電話番号からかかってきたら、インターネットで不審かどうか等確認している。

不審に思った電話番号を入力すれば「この電話番号は詐欺で使われている電話番号です。」等と確認ができる、信頼性のあるインターネットサイト等があれば良いのではないかと思う。

固定電話へかかってきた電話の被害が多いと聞いたが、固定電話の個人情報はどこから漏れているのでしょうか。

【警察】昔広く一般に普及していた「ハローページ」には、固定電話番号・個人名・住所が掲載されていた。

そのほか、過去、学校では生徒名簿が配布されていた時代があり、名簿を買い取る業者等もあったことから、固定電話にかかる個人情報が様々なルートで犯人グループに漏れているのだと考えられる。

会議  
内 容

警察では、特殊詐欺等の捜査過程で押収した名簿を活用し、その名簿に載っていた方に連絡して注意を喚起する取組も推進している。

【委員】私は、発信者番号が「0800」から始まる電話番号からの電話にはすぐ出ないようしている。

「0800」から始まる電話番号はフリーダイヤルだが、正規企業の電話番号である場合もあるものの、詐欺のような電話も多いようでそのような対応をしている。

先ほどもお話があったとおり、警察では国際電話の利用休止手続きを推進をされていると聞き、周囲の固定電話を持っている方にお勧めをするようにしているが、この対策は京都だけの話なのか。

【警察】防犯対策の普及に御協力いただきありがたいと思う。

この対策は京都だけではなく、全国にかかるものであり、他府県居住の方にも勧めていただけるものである。

【委員】地域の方も、国際電話の利用休止手続きの普及に力を入れていると聞き、行政機関もより一層、同手続きの普及に力を入れなければと思う。

本日、国勢調査にかかる詐欺被害防止のチラシもいただいたが、既に役場には国勢調査や国勢調査員にかかる問い合わせが入っている。

【警察】警察官をかたる詐欺も発生しており、警察官が各御家庭等を訪問して、防犯指導等行うほか、皆様からの困りごとや要望等をお伺いする巡回連絡という活動においても、本当の警察官が訪問しているにもかかわらず、警察署に問い合わせの電話が入るということも起こっている。

警察官をかたる手口では、犯人は固定電話や携帯電話にかけてきた後、SNSでの通話に誘導し、SNSによる通話において偽の警察手帳や逮捕状を呈示し、捜査等の名目で金銭の送金を要求するというものがある。

警察がSNSで連絡することは決してない。警察手帳や逮捕状などの画像・映像を送信したり、捜査等の名目で金銭を要求することもない。

皆さんに落ち着いた対応を取っていただきたいと考えている。

4 事務連絡

令和7年度第3回京都府田辺警察署協議会は、令和7年12月上旬頃に実施予定である。

以上

## 第2回京都府田辺警察署協議会の開催状況

